

しまねらふく

2008.8

Vol.362

くらしサポートセンター島根開設式 〈労働・生活なんでも相談〉



〈目次〉

特集「くらしサポートセンター島根」スタート…2

2008年度中央労福協主催全国研究集会報告…3

各地区労福協定期総会
中小企業退職金共済事業本部からのお知らせ…4～5

中国労働金庫第5回通常総会…6

第52回島根県労働者共済生活協同組合
通常総代会開催報告…7

各地区労福協活動のご紹介 浜田地区労福協…8

特集

「くらしサポート センター島根」 スタート



次回は 10月1日(水)発行です

くらしサポートセンター島根 開設式

〈労働・生活なんでも相談〉

島根県労福協/連合島根/中国労働金庫島根県営業本部/全労済島根県本部



ひとりで
悩まないで!

=「くらしサポートセンター島根」スタート=



▲ ご祝辞をいただきました
伊藤局長(写真左)・山根部長(写真右)

ご来賓の皆様方

島根県商工労働部	部長 山根 泉
島根労働局	局長 伊藤 敏明
日本司法支援センター島根地方事務所	所長 津田 和美
司法書士リーガルエイトしほね	代表 余村 博樹
健康福祉部総務課	課長 島地 徳郎
島根県消費者センター	所長 永瀬 裕
島根県警察本部広報相談課	課長代理 竹村 史嗣
社会福祉法人 島根県福祉協議会	地域福祉部長 足立 卓久
島根県生活協同組合連合会	会長理事 鎌田 憲男
日立安楽衛生活協同組合連合会	議長 石塚 博
島根県議会議員	石橋富二雄
島根県議会議員	石倉 俊紀
島根県議会議員	白石 恵子
島根県議会議員	角 智子
島根県議会議員	珍部 芳裕

< 前不図・敬称略 >

2008年6月23日(月)、労働会館において、県労福協・連合島根・中国労働金庫島根県営業本部・全労済島根県本部の4団体による「くらしサポートセンター島根」の開設式を開催しました。

この新たな事業は、地域への社会貢献と労働者の福祉の向上を目指す4団体を中心となって設立されたものでありますが、この想いに共感していただいた関係諸団体の皆様方と連携してネットワークを構築したなかで、相談者の抱える問題解決を図ろうとするものであります。

開設式では、4団体を代表して県労福協大崎会長より「これまで4団体では、県民・勤労者の働く上での問題や生活する上での問題など、暮らしに関する不安を解消して「ゆとり・豊かさ」を追求するため、労働団体及び事業団体と連携し、この間、その方策を検討してまいりました。こうした中で、このたび、関係団体の皆様方の多大なご支援をいただき相談体制のネットワークを確立するなかで、地域に開かれた支え合いの基礎として、「くらしサポートセンター島根」を開設するのはこびになりました。これもひとえに皆様方のご指導、ご鞭撻のたまものと、心より感謝申し上げます。当センターは、いま、産声をあげたばかりでございます。本日を出発点として、今後、諸課題に対して積極的に取り組み、機能を充実させ県民・勤労者の負託に応えていく所存でございます。」と挨拶がなされた後、島根県商工労働部・山根部長並びに、島根労働局・伊藤局長より、それぞれご祝辞をいただきました。また、労働者中央協議会並びに労働者西部協議会からの祝電が披露され、来賓紹介、事業の概要紹介、スタッフ紹介がなされた後、開設式は盛会に終わることができました。ご協力いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。

くらし サポート センター 島根

2008年6月23日より
相談受付を開始しました

フリーダイヤル 0120-154-052
相談日 月～木 10:00～16:00

相談受付内容

労働相談/キャリア相談/労働セミナー/失業・離職者支援/生活設計/資産形成/保障設計/クレサラ相談/法律相談/消費生活相談/介護・介護相談/心と体の相談/出産・育児相談/地域福祉活動/その他

無料相談の範囲

相談は原則無料ですが、次のようなケースで相談受付先の団体の定めがあるときはそれによります。

●相談時間が概ね30分を超えるような場合 ●相談の結果、有償行為を依頼する場合

個人情報の取り扱い

本会は、個人情報を以下の利用目的の範囲内で利用いたします。

1. 本相談事業における相談者本人への回答・報告・連絡通知に利用します。
2. 本相談業務においてネットワーク先(弁護士・税理士等の相談受付先)への取次ぎのための提供に利用します。



責任団体/島根県労働者福祉協議会

「労働運動・消費者運動・社会保障運動の連携・提携に向けて」
講師 宇都宮健児氏
「広く市民に根ざした新しい労働者福祉運動を」
講師 井巻久一氏

2008年度 中央労福協主催
全国研究集会
「支え合い、助け合い、めくもりのある社会を目指す労働者福祉運動を」

労福協

労働者福祉中央協議会

「マツダのめざすもの」
講師 井巻久一氏
「二十一世紀を広島時代の時代に」
講師 井巻久一氏
「世界のモデル都市実現に向けて」
講師 井巻久一氏

2008年度 中央労福協主催全国研究集会報告

島根県労働者福祉協議会
会長 大崎 康弘

今年の全国研究集会は、6月5日～6日にかけて広島市において、全国から290人が参加し「支え合い、助け合い、めくもりのある社会を目指す労働者福祉運動を」をメインテーマとして開催されました。

今回の研究集会は4本の講演がありましたが、その中でとりわけ印象に残った、宇都宮弁護士からの基調講演を報告いたします。



演題：「労働運動・消費者運動・社会保障運動の 連携・提携に向けて」

日本弁護士連合会 弁護士 宇都宮健児氏

私は多重債務問題を約30年間取り組んできた。そうした中で、昨年、高金利の引き下げ・貸金業法改正について、歴史的勝利を収めることができた。

その大きな要因は、私たち弁護士団体・司法書士団体・消費者団体などの組織と、労福協・連合などの労働者の全国的組織とが出会い、国民的ネットワークが形成され幅広い運動が構築できたことだと思う。

それまで私は、労働組合は縁遠い存在であり、こうした社会的運動をする組織だという認識がなかった。

しかし、3年前皆さんと知り合い、私たちだけでは到底集めることのできない何百万という署名の集約や、県

議会・市町村議会への請願、さらに2000人集会やパレード（デモ）など世論喚起を行いマスコミ



を動かし、そして政府与党・国会をも動かすことができた。感謝を申し上げるとともに今後も手を携えて運動をしていきたい。

これまでの経験が、本年の割賦販売法改正運動にも生かされ、今国会では法改正になることは大変喜ばしいことである。

多重債務問題の根本的解決のためには貧困問題・格差拡大問題の解決がなにより必要である。皆さんとともに反貧困ネットワークの運動を盛り上げ、今の社会を変えていきたい。

労働組合と一般社会とのカベが少しずつ、とりはらわれつつあるのではないかな。

全国的組織である労福協・連合の社会的運動が、世論を変え社会を変える母体となれるのではないかな。

皆さんには今後より一層、社会的勢力（市民団体・NPOなど）と連携した運動、すなわちビジネスユニオンにソーシャルユニオンの一面をプラスした運動展開をしていただきたい。

今後とも是非一緒に運動をしていきましょう。

=各地区労福協 定期総会=

2008年度新役員を紹介します

松江地区労働者福祉協議会 第32回定期総会 6.20(金)



会 長	鍋織 清人	JP労組JP松江支部	幹 事	山本 幸宏	くにびき農協労働組合
副 会 長	村上 正人	NTT労組島根分会	//	松田 英治	県職労県庁支部
//	景山 誠	PED労組キャパシタ松江支部	//	森山 秀樹	中電プラント労組島根原子力支部
//	加田 章	全日通労組	//	福田 英樹	松江市職員ユニオン
事務局長	梶川 義雅	連合島根	//	並河 幸司	中国電力ユニオン島根原子力支部
事務局次長	浅津 寿広	中国労働金庫松江支店	//	立石 圭一	一畑電鉄労働組合
//	門脇 大地	全労済東部支所	//	戎谷 孝博	中国労働金庫松江支店
幹 事	岩谷 裕志	三菱農機労働組合	//	北川 雅省	全労済東部支所
//	建部 正光	中国電力ユニオン松江実業支部	会計監事	藤野 智之	中国労働金庫松江支店
//	井上 大輔	一畑電鉄労組	//	片桐 明子	全労済東部支所

雲南地区労働者福祉協議会 第36回定期総会 7.10(木)



会 長	細木 勝	雲南市職	幹 事	栗原 庄司	島根三洋電機労組
副 会 長	大垣 照子	奥出雲町議会議員	//	梶浦 靖二	県職連合雲南支部
//	狩野 勇二	労金雲南支店	//	勝部 修二	全国一般三刀屋金属
//	小村 亮二	連合雲南地協	//	和田 頼幸	全労済東部支所
事務局長	菅田 和美	雲南市職	//	糸川 俊之	JP労組出雲支部
事務局次長	藤原 幸夫	雲南農労	//	深石 尚志	飯南町職
幹 事	杉原 孝治	労金部会長	//	川西 博司	労福協奥出雲支部
//	板持 周治	労済部会長	監 事	小村 正樹	労金雲南支店
//	妹尾 富徳	全労済理事	//	勝部 聖人	ゼンキンメタル労組
//	藤原 登	ホシザキ電機労組島根支部			

浜田地区労働者福祉協議会 第35回定期総会 6.26(木)



会 長	河野 正雄	浜田市職労	常任幹事	浅田 茂人	JP労組石見支部
副 会 長	岩田 学	JP労組石見支部	//	花本 正二	JR西労組
//	戸津川美二	浜田市職労	//	又賀 清史	全農林
//	横山 宗孝	一般労西部支部	//	木屋 誠	浜田市職労
//	原 英二	私鉄石見	//	若林 信	中電労三隅
事務局長	山根 盛宏	県職連合浜田支部	//	高野 公詳	国労浜田
事務局次長	佐伯 裕子	全労済西部支所	//	佐々木 誠	ハイレックス
会 計	今岡 健	中国労働金庫浜田支店	//	有田 修	県職連合浜田支部
常任幹事	明本 一志	県職連合浜田支部	//	皆尾 智幸	浜田市職労
//	賀元 修司	中電ユニオン浜田	会計監査	奥田 昌徳	JR西労組
//	山口 英和	浜田ハイヤー労組	//	中村 譲	中電工労組浜田分会
//	鍛冶富美男	中電工労組浜田分会			

邑智地区労働者福祉協議会 第31回通常総会 6.4(水)



会 長	有田 恭二	川本町職	幹 事	三上 直樹	邑南町職
副 会 長	松本 明子	美郷町職	//	大賀 定	邑南町職
//	陶山 祥譽	県職連合邑智	//	田中 弓子	邑南病院職
事務局長	大野久美子	県職連合邑智	会計監査	浅原 邦彦	邑智郡事務組合
事務局次長	原 拓矢	邑南町職	//	宮崎 弘文	県職連合邑智

安来地区労働者福祉協議会 第35回通常総会 6.11(水)

会 長	橋田 一道	安来市職員労組	幹 事	尾崎 宏志	県職労松江支部
副 会 長	石塚 博	日立金属労組安来支部	〃	吉村 修	ダイヤキコウ労組
〃	遠藤 志伸	安来製作所労組	〃	永島 康平	フーズマーケットネック労組
労会部長	大谷 宏	安来市職員労組	〃	中原 哲也	守谷刃物研究所守谷会
労済部長	岩田 正人	安来製作所労組	〃	片桐 明子	全労済
さむやい部長	井澤 進人	出雲造船労組	会計監査	野口 光雄	安来市関係団体職員労組
事務局次長	田邊 光男	安来製作所労組	〃	石原 和幸	労金労組
事務局次長	松本 敏和	中国労働金庫安来支店	労金理事	石塚 博	日立金属労組安来支部
幹 事	堀田 紀公	HMP 労金会	労済理事	渡藤 志伸	安来製作所労組
〃	小松原直樹	日立金属労組安来支部	〃	澤田 秀夫	日立金属労組安来支部
〃	藤井 俊之	安来市職員労組	労済監事	橋田 一道	安来市職員労組

大田地区労働者福祉協議会 第34回定期総会 6.27(金)

会 長	福田 実	大田市職	常任幹事	奥野 尚宣	大田市職
副 会 長	三登 文郎	建交労	〃	相 修	中電工大田
〃	岩谷 健一	石見銀山農協労組	〃	吉岡 英明	大田市職
事務局次長	高木 裕介	大田市職	〃	田中 和弘	大田市職
事務局次長	堀岡 貴子	労金	〃	森川 仁志	日ビス島根労組
常任幹事	三谷 建喜	全農林石見	〃	大原 健志	広島アルミ労組
〃	杉谷 圭司	帝人コードレ労組	〃	安達 利文	労金
〃	伊藤 和雄	建交労	〃	金森 智裕	全労済
〃	柿田 和仁	私鉄石見大田	会計監査	中原佳代子	大田市立病院労組
〃	田中 政夫	JP労組石見	〃	郷原 恒子	恵和会労組
〃	伊東 芳晴	県職連合大田			

益田地区労働者福祉協議会 第36回定期総会 6.4(水)

会 長	吉岡 勝弘	マルヨシむつみ会	幹 事	藤原 博	県職連合益田支部
副 会 長	大賀 清史	ダイヤボウ労組益田支部	〃	猪俣 栄	島根中井工業労組
〃	石田 弘至	県職連合益田支部	〃	松崎 裕	JP労組
〃	藤井 昭見	私鉄石見益田	〃	松本 恭司	全日通
事務局次長	岩本 辰彦	益田市職労	〃	吉川 賢治	中国労働金庫益田支店
事務局次長	堀川 智行	益田市職労	〃	佐伯 裕子	全労済西部支所
幹 事	寺戸 一弘	益田市職労	会計監査	品川 益美	ダイヤボウ労組益田支部
〃	佐々木 剛	中電ユニオン益田電力所支部	〃	香塚 慎治	県職連合益田支部

出雲地区労働者福祉協議会 2008年度定期総会 6.27(金)

会 長	広沢 寿志	JP西労組出雲支部	幹 事	呂子 進	JP西労組出雲支部
副 会 長	清水 心悦	ヒラタ精機労組組合	〃	宇越 和弘	JP労組出雲支部
〃	鬼村 憲生	KBツツキ労組出雲支部	〃	土江 勇二	ヒカワ精工労組組合
〃	佐藤 敬治	JMS労組組合	〃	杉山 賢一	全水道出雲支部
〃	板垣 晃	JP労組出雲支部	〃	横野由美子	きんろう保育園職員会
〃	福田 仁	ヒラタ精機労組組合	〃	山田 真介	全農しまね労組
事務局次長	日高 純二	出雲市職員労組組合	〃	小池 巧	ヒラタ精機労組組合
事務局次長	安達 利文	労金出雲支店	〃	寺本 正人	島根県中労組
〃	門脇 大地	全労済出雲共済ショップ	〃	山口 郁男	全日通労組出雲分会
〃	藤岡 武	まいにち自動車	〃	山崎 仁士	一電労組組合出雲支部
〃	山村 良子	きんろう保育園	〃	鶴崎 端	斐川町農協労組
幹 事	嘉藤 恭子	県職連合出雲支部	〃	小林 広信	昭和KDE河下分会
〃	曾田 和彦	ダイヤボウ労組	会計監査	山内 秀樹	中国労金出雲分会
〃	内藤 洋	中電工労組出雲分会	〃	大森 英明	全農林出雲分会
〃	鍋藤 智	オムロン出雲労働組合			

江津地区労働者福祉協議会 第34回定期総会 6.27(金)

会 長	野海 修二	日本製紙ケミカル労組	常任幹事	島田 隆二	島居運送労組
副 会 長	岩竹 好夫	PC労組外川江津地	〃	山根 繁樹	久保田鉄工労組
〃	津島 正彦	江津市職労	〃	宇津善弘友	帝国電線労組
〃	福富 孝男	JP労組石見	〃	佐伯 裕子	全労済西部支所
事務局次長	佐々木康雄	PC労組外川江津地	〃	坂根 広見	江津市職労
事務局次長	今岡 健	労金浜田支店	会計監査	藤井 祥代	江津市職労
常任幹事	中村 正弘	江津通産労組	〃	兼行 正文	JP労組石見

隠岐地区労働者福祉協議会 2007年度定期総会 8.9(木)

会 長	平田 芳春	隠岐の島町職	会計監査	伊勢 宗高	農団労
副 会 長	野津 浩一	隠岐の島町職	幹 事	山根 益夫	中電労組
〃	塩尾 秀重	JP労組	〃	池添 功男	農団労
〃	平山 隆春	中電労組	〃	梅見 健一	JP労組
〃	西岡 博志	隠岐広域連合	〃	半田 桂一	隠岐の島町職
事務局次長	奥元 次郎	隠岐の島町職	〃	西村 洋一	隠岐広域連合
事務局次長	大上 達也	隠岐の島町職	〃	板垣 貴敏	県職労
会計監査	通藤 公作	県職労	〃	藤岡 智	中電工労組

※2008年度定期総会は8月12日に予定されています

中小企業の皆様!

中退共で退職金の準備を始めませんか?



中退共制度は 中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です

- 適格退職年金制度からの移行先です
適年解約事業所の約半数が中退共に移行しています
- 掛金の一部を国が助成します
中退共制度に新しく加入する事業主に掛金月額1/2(従業員ごとに上限5,000円)を加算後4か月日から1年間助成します
- 掛金は全額非課税です
掛金は、法人企業の場合は損金、個人企業の場合は必要経費となります
- 管理が簡単です
従業員ごとの納付状況、退職金試算額等を事業主にお知らせいたしますので退職金の管理が簡単です
- 掛金以外の経費がかかりません
事務手数料・管理費等は一切不要です

《お問い合わせ先》

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6
TEL(03)3436-0151(代表) FAX(03)3436-0400

●くわしくはホームページをご覧ください

中退共 検索

<http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp>

中国労働金庫 第5回 通常総会開催

2008年6月24日
ホテルグランヴィア広島

第3期中期経営計画を確認

「信頼度No.1の金融機関をめざして」
「もっと、ずっと、ろうきん」を
実現しよう!



中国労働金庫の第5回通常総会が6月24日13時から、広島市のホテルグランヴィア広島で出席代議員214会員、委任会員2785会員で開催されました。

総会は、司会の竹内理事（鳥取三洋電機労働組合）の挨拶の後、築山理事（日新製鋼労働組合南支部）、堀谷理事（三菱レイヨンユニオン大竹支部）を議長団に指名し、開会しました。

田中理事長が、統合5周年を迎えるにあたり、金融界の状況も激しく変動した時期であり、合併という大きな課題を達成し得たことが、この難局を乗りきれた重要ポイントであったと述べ、今後の課題である第3期中期経営計画の達成に向けて「信頼度No.1の金融機関をめざして」をスローガンに「もっと、ずっと、ろうきん」を合言葉に役員が一丸となってまい進する決意を表明し、会員のより一層の協力・支援を求める挨拶を行いました。

つづいて、広島市長の代理として島本市民局長、中国ブロック労協連絡会会長・連合中国ブロック連絡会代表幹事の宮路氏から、来賓を代表しての祝辞を受けました。

報告事項として、2007年度業務報告・2007年度計算書類報告・監査報告を受け、賛成多数で承認確認後、議案審議に入りました。

第1号議案「2007年度剰余金処分案承認の件」、第2号議案「第3期中期経営計画（2008～2010年度）および2008年度事業計画設定の件」、第3号議案「理事・監事の退任に伴う補欠選任の件」、第4号議案「選挙管理委員の退任に伴う補欠選任の件」、第5号議案「退任理事および退任監事に対する退職慰労金支給の件」、第6号議案「選挙管理委員の任期満了に伴う改選の件」は、審議の後いずれも賛成多数により承認されました。

その他の事項として、「全国合併に向けた今後の進め方について」の提案があり、今年の秋に全国合併に向けての具体的な事項を提起・確認するために開催される「全国労働金庫協会臨時総会」を受けて、各金庫が2009年6月の通常総会において合併についての態度を明らかにすることとなったことが報告されました。今秋以降、会員討議資料に基づき各地区推進委員会で検討を行い、来年の通常総会で方向性を確認後に合併準備委員会を設立し、各金庫は2011年4月の通常総会で2012年4月を目途とする合併の最終判断を行うという提案でした。



梅津 新監事

これを受けて、13金庫の様々な状況がある中で、中央で作成した「討議資料」に基づくだけでなく、身近な会員の声が反映するような進め方が必要であることを検討の中で重視してもらいたいとの要望があり、長廣専務が、秋以降の会員討議の段階で、「討議資料」についても要望を組み込んだものを検討して具体的に示したいと答えました。

なお、今回の議案「理事・監事の退任に伴う補欠選任の件」に関して、島根県選出の宮田監事の退任により、梅津明則監事（自治労島根県本部）が選任されました。



地域でがんばるNPOを応援してください。

《ろうきんNPO寄付システム》

普通預金口座からの自動引き落としで、毎月100円からできるNPO応援です。
詳しくはもよりの支店にお問合せください。

R ろうきん

第32回全労済島根県本部

第52回島根県労働者共済生活協同組合

通常総代会開催報告

全労済島根県本部ならびに島根県労働者共済生活協同組合の通常総代会を、7月30日(水)13時より代議員総数120名のうち115名が出席し、松江市において開催しました。

議長に梅津総代(自治労)、永島総代(日立金属労組)を選出し、以下のとおりの議案を討議しました。



- 【主な議案】 1. 2007年度年度事業報告・決算報告・監査報告
2. 2008年度活動計画・予算計画
3. 諸規定の一部改正

活動計画では、2007年度の事業実績が期首割れとなった厳しい状況を踏まえ、協同組織と一層の連携をはかりながら、生協らしく組合員の満足度を最優先とした活動を展開することを確認しました。



また、総代会に引き続き、2009年1月が創立50周年を迎えることから、来賓の皆様・諸先輩の皆様方等各方面から大変多くの皆様にご出席いただき「50周年式典・レセプション」を開催しました。ご多用中にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございました。

スローガン

1. さらなる業務品質の向上と、きめ細やかな事業推進活動の展開をはかりながら「組合員の全労済」をめざした取り組みを強化しよう。
2. 生協法改正を踏まえ、事業・組織運営の抜本的見直しと経営基盤の強化を着実にすすめ、組合員から信頼・選択される事業体の実現をめざそう。
3. あたらしい全労済の理念にもとづき、つぎの50年に向け、一層の組合員参加をすすめながら共助組織として社会的な責任と役割を果たそう。

＝ 今後ともよろしくお願いいたします ＝

ただいま

保障の無料点検相談実施中!

ぜひこの機会に、あなたも一度保障を点検してみてください。

点検方法は全労済までご連絡ください。

全労済は、賃料を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

〈各地区労福協活動のご紹介〉

今月号では浜田地区労働者福祉協議会の活動の一部をご報告させていただきます

第15回 労福協CUP フットサル大会

実施日

2008年2月16日(土)・17日(日)

開催時間

1日目 14:00~17:00

2日目 9:00~16:00

会場

ふれあいジムかなぎ(金城町)

参加者人数

約200名

今大会は第15回記念として、予選リーグと決勝リーグに分けて2日間にわたって実施されました。小学生選手の8チーム(登録95名)のリーグ戦にママさん4チームの交歓試合もあり、真剣なジュニアの部と黄色い悲鳴も沸き起こったママさんの部のコントラストが印象的であり、また、2日目途中には記念イベントとして「モンキークルー」という2人組のパフォーマーがサッカーボールを使ったパフォーマンスを見せてくれるなど、楽しい大会となりました。

労福協スタッフは会長のあいさつのほかは各試合の得点記録係として運営に参加しました。また、浜田市職労の協力で恒例のトン汁がつくれ、選手をはじめ関係者にふるまわれました。



一昨年は労金浜田支店新築キャンペーンの協賛イベントとして一回限りの事業として実施しましたが、好評だったため継続開催したものです。

第1部は福祉研修会として全労済より「事故処理の流れと損害補償“交通事故を起こしたとき”」と題したセミナー、第2部はビンゴ大会、グランドゴルフ大会、綱引き大会のメインイベントをはじめ、各部会が出店する焼き鳥、焼そば、トン汁の食い倒れ横丁、鉄道模型やヨーヨー釣りのコーナー、一般募集したフリーマーケットコーナーなど盛り沢山の内容があり、隣接の世界子ども美術館への来訪者も寄ってくるなど、大変にぎわいとなりました。

労福協と各部会スタッフも総勢64名の大所帯でした。

実施日

2007年10月20日(土)

開催時間

第1部 10:00~11:00 第2部 11:30~16:00

会場

総合福祉センター・海の見える文化公園

参加者人数

第1部 50名 第2部 約400名

労福協まつり

第1部:福祉研修会

第2部:イベント



労福協とは…



労福協シンボルマーク



労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。